

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2022.11.7-13

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

44:1 ヨセフは家を管理する者に命じた。「あの者たちの袋を、彼らが運べるかぎりの食糧で満たし、一人ひとりの銀を彼らの袋の口に入れておけ。

44:2 それから、私の杯、あの銀の杯は、一番年下の者の袋の口、穀物の代金と一緒にに入れておけ。」彼はヨセフのことばどおりにした。

44:3 明け方、一行はろばとともに送り出された。

44:4 彼らが町を出て、まだ遠くへ行かないうちに、ヨセフは家を管理する者に言った。

「さあ、あの者たちの後を追え。追いついたら、『なぜ、おまえたちは悪をもって善に報いるのか。』

44:5 これは、私の主君が、飲んだり占いをしたりするときに、いつも使っておられるものではないか。おまえたちのしたことは悪辣だ』と彼らに言うのだ。」

44:6 彼は追いついて、このことばを彼らに告げた。

44:7 彼らは言った。「あなた様は、なぜ、そのようなことをおっしゃるのですか。しもべどもがそんなことをするなど、あり得ないことです。」

44:8 袋の口で見つけた銀でさえ、カナンの中からあなた様のもとへ返しに来たではありませんか。どうして、あなた様のご主人の家から銀や金を盗んだりするでしょう。

44:9 しもべどものうちで、それが見つかった者は殺してください。そして、私たちもまた、ご主人の奴隷になります。」

44:10 彼は言った。「今度も、おまえたちの

言うことはもっともだが、それが見つかった者は私の奴隷とし、ほかの者は無罪としよう。」

44:11 彼らは急いでそれぞれ自分の袋を地面に降ろし、それぞれその袋を開けた。

44:12 彼は年長の者から調べ始めて、年下の者で終えた。すると、その杯はベニヤミンの袋から見つかった。

44:13 彼らは自分の衣を引き裂いた。そして、それぞれろばに荷を負わせ、町に引き返した。

44:14 ユダと兄弟たちがヨセフの家に来て来たとき、ヨセフはまだ、そこにいた。彼らはヨセフの前で顔を地に伏せた。

44:15 ヨセフは彼らに言った。「おまえたちの、このしわざは何だ。私のような者は占いをするとということを知らなかったのか。」

44:16 ユダが答えた。「あなた様に何を申し上げられるでしょう。何の申し開きができるでしょう。何と言って弁解することができるでしょう。神がしもべどもの咎を暴かれたのです。今このとおり、私たちも、そして、その手に杯が見つかった者も、あなた様の奴隷となります。」

44:17 ヨセフは言った。「そんなことをするなど、とんでもないことだ。その手に杯が見つかった者、その者が私の奴隷となるのだ。おまえたちは安心して父のもとへ帰るがよい。」

ヨセフは以前も兄たちが互いに愛し助け合うようになっているかどうかを知りたくて、シメオンを人質に取りました。今度は弟のベニヤミンですが、彼は父ヨセフの年寄り子であり、最も愛した

妻ラケルの子ともです。すなわちヨセフと同じように、他の兄たちから妬まれるような存在だったのです。そこでヨセフは、兄たちは彼をもかばって守ろうとすることを見つけたのです。

またユダは「神がしもべどもの罪をあばかれた」と言うように、罪を犯した（と思われる）ベニヤミンさえもかばうかどうかをも確認したかったのでしょう。つまり兄たちの変化が本物かどうかを見たかったのです。

かつてヨセフを奴隷として売り飛ばしたユダは、今は弟をかばって全員でその罪を負おうとしています。彼の誠意は本物でした。

肉の兄弟また家族、そして霊の兄弟姉妹と家族は互いに赦しあいあいかばい合うべきです。そこから神様のみこころになった素晴らしい解決と勝利の可能性が開けてきます。

ヨセフの兄たちは身に起きた苦難によって、かつて自分たちがヨセフにした罪に気づきました。そして真摯に罪を認めて悔いるところから、このような誠実な者への変化が始まったのです。苦しきから脱出することばかり求めるよりも、そこから学び、悟り、善き者へと変えられるチャンスとしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



8日 火曜

創世記



44:18 すると、ユダが彼に近づいて言った。「ご主人様。どうか、しもべが申し上げることに、耳をお貸しください。どうか、しもべを激しくお怒りにならないでください。あなた様はファラオのようなお方です。

44:19 あなた様は、以前しもべどもに、おまえたちに父や弟がいるかとお尋ねになりました。

44:20 それで私たちは、『私たちに、年老いた父と、年寄り子の末の弟がおります。彼の兄は死に、その母の子としては彼だけが残されましたので、父は彼を愛しています』と申し上げました。

44:21 するとあなた様は、『彼を私のところに連れて来い。私はこの目で彼を見たい』とおっしゃいました。

44:22 そのとき私たちは、『その子は父親と離れることはできません。離れたら父親は死ぬでしょう』とあなた様に申し上げました。

44:23 しかし、あなた様が、『末の弟と一緒に下って来なければ、二度と私の顔を見てはならない』とおっしゃったので、

44:24 私たちは、あなた様のしもべである私の父のもとへ帰ったとき、父にあなた様のおことばを伝えました。

44:25 そして父が、『また行って、われわれのために少し食糧を買って来てくれ』と言ったので、

44:26 私たちは、『下って行くことはできません。もし末の弟が私たちと一緒に下って行きます。というのは、末の弟と一緒になければ、あの方のお顔を見ることはできないからです』と答えました。

44:27 すると、あなた様のしもべ、私の父がこう申しました。『おまえたちもよく知っているように、私の妻は二人の子を産んだ。

44:28 一人は私のところから出て行ったきりで、きつと獣にかみ裂かれてしまったのだ、と私は言った。今に至るまで、私は彼を見ていない。

44:29 おまえたちがこの子まで私から奪って、この子にわざわざ降りかかるなら、おまえたちは白髪頭の私を、苦しみながらよみに下らせることになる。』

44:30 私が今、あなた様のしもべである私の父のもとへ帰ったとき、あの子が私たちと一緒にいなかったら、父のいのちはあの子のいのちに結ばれていますから、

44:31 あの子がいないのを見たら、父は死んでしまうでしょう。しもべどもは、あなた様のしもべである白髪頭の父を、悲しみながらよみに下らせることになります。

44:32 というのは、このしもべは父に、『もしも、あの子をお父さんのもとに連れ帰らなかったなら、私は一生あなたの前に罪ある者となります』と言って、あの子の保証人となっているからです。

44:33 ですから、どうか今、このしもべを、あの子の代わりに、あなた様の奴隷としてとどめ、あの子を兄弟たちと一緒に帰らせてください。

44:34 あの子と一緒になくて、どうして私は父のところへ帰れるでしょう。父に起こるわざわざいを見たくありません。』

ヨセフが入れさせた杯がベニヤミンの袋から見つかり、ベニヤミンが奴隷とならなくてはいけなくなりました。ユダは彼を必死に守ろうとしてヨ

セフに嘆願します。彼の心は父と弟を思う愛情で溢れています。

かつてのユダはそうではなく、父に特別に愛されている弟ヨセフを妬んでいましたし、またヨセフを売ったことで父を悲しみのどん底に突き落とすような者だったのです。苦難とヨセフの言動が彼を変えたのですが、その背後には神様が導いておられました。

ユダは弟ベニヤミンが自分よりも父に愛されていたことを感じていたはずですが、妬むことをせずに守ろうとしました。自己中心が消えたいたのです。また自分をが奴隷になろうとしています。犠牲の愛です。

これらは父を愛する思いから来るものです。このように神を愛する者は、どんな困難をも乗り越えて兄弟姉妹を愛するようになります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたその部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9日 水曜

創世記



45:1 ヨセフは、そばに立っているすべての人の前で、自分を制することができなくなって、「皆を私のところから出しなさい」と叫んだ。ヨセフが兄弟たちに自分のことを明かしたとき、彼のそばに立っている者はだれもいなかった。

45:2 ヨセフは声をあげて泣いた。エジプト人はその声を聞き、ファラオの家の者もそれを聞いた。

45:3 ヨセフは兄弟たちに言った。「私はヨセフです。父上はお元気ですか。」兄弟たちはヨセフを前にして、驚きのあまり、答えることができなかった。

45:4 ヨセフは兄弟たちに言った。「どうか私に近寄ってください。」彼らが近寄ると、ヨセフは言った。「私は、あなたがたがエジプトに売った弟のヨセフです。

45:5 私をここに売ったことで、今、心を痛めたり自分を責めたりしないでください。神はあなたがたより先に私を遣わし、いのちを救うようにしてくださいました。

45:6 というのは、この二年の間、国中に飢饉が起きていますが、まだあと五年は、耕すことも刈り入れることもないからです。

45:7 神が私をあなたがたより先にお遣わしになったのは、あなたがたのために残りの者をこの地に残し、また、大いなる救いによって、あなたがたを生き延びさせるためだったのです。

45:8 ですから、私をここに遣わしたのは、あなたがたではなく、神なのです。神は私を、ファラオには父とし、その全家には主人とし、またエジプト全土の統治者とされました。

45:9 どうか、急いで父上のところに行って行き、言ってください。『息子のヨセフがこう言いました。「神は私をエジプト全土の主とされました。ためらうことなく私のところに行って来てください。

45:10 ゴシェンの地に住んで、私の近くに来てください。父上も、子と孫、羊と牛、また父上に属するすべてのものも。

45:11 飢饉はあと五年続きますから、父上も家族も、また父上に属するすべてのものも、困ることのないように、私が父上をそこで養いましょう。』

45:12 さあ、あなたがたも、弟のベニヤミンも、自分の目でしっかり見てください。あなたがたに話しているのは、この私の口です。

45:13 あなたがたは、エジプトでの私のすべての栄誉と、あなたがたが見た一切のことを父上に告げ、急いで父上をここに連れて来てください。」

45:14 彼は弟ベニヤミンの首を抱いて泣いた。ベニヤミンも彼の首を抱いて泣いた。

45:15 彼はまた、兄弟みなに口づけし、彼らを抱いて泣いた。それから兄弟たちは彼と語り合った。

ユダの家族愛がヨセフの心を解かし、彼は感極まって泣き、そこにいた者たちに泣き声が知れるほどでした。主に導かれた真心が人を動かすのです。

ヨセフが自分を明かすまでには、兄弟たちの悔い改めがあり、互いを思いやる心の変化があり、そしてそれを知ったヨセフの心には少なからず癒しがあったと思われまふ。これは神様の重要な計画ですが、神様は人の心を思いやり和解と平和を実現しつつ、すなわち導く者に幸いを与えつつ計

画を進める方なのです。心から安心して信頼し、主のご計画に進んでいきましょう。

ヨセフは自分が売られたことも、またききんも、そして自分が大臣となったことも、すべては神がなさったことであると明言しました。私たちに関わってくる出来事をもたらず要因には二種類あります。人や社会など目に見えるもの、そして目に見えない神です。そして実は神が背後で、みこころやご計画を持って働いておられるのです。それが分からない人は、常に人から「被害を受けた、何もしてくれない」などの思いから抜け出されずに、解決と成長と祝福の機会を逃してしまふのです。ヨセフのように主を中心にして、出来事を見直してみましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのだの部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



10日 木曜

創世記



45:16 ヨセフの兄弟たちが来たという知らせが、ファラオの家に伝えられると、ファラオもその家臣たちも喜んだ。

45:17 ファラオはヨセフに言った。「おまえの兄弟たちに言うがよい。『こうしなさい。家畜に荷を積んで、すぐカナン之地へ行き、

45:18 あなたがたの父と家族を連れて、私のもとへ来なさい。私はあなたがたに、エジプトの地の最良のものを与えよう。あなたがたは、地の最も良い物を食べるがよい。』

45:19 おまえはこう命じなさい。『子どもたちと妻たちのために、エジプトの地から車を持って行き、あなたがたの父を乗せて来なさい。

45:20 家財に未練を残してはならない。エジプト全土の最良の物は、あなたがたのものだから』と。」

45:21 そこで、イスラエルの息子たちはそのようにした。ヨセフは、ファラオの命により、彼らに車を与え、また道中のための食糧も与えた。

45:22 彼ら一人ひとりに晴れ着を与えたが、ベニヤミンには銀三百枚と晴れ着五着を与えた。

45:23 父に贈ったものは、エジプトの最良のものを積んだらば十頭と、穀物とパンと父の道中の食糧を積んだ雌ろば十頭であった。

45:24 こうしてヨセフは兄弟たちを送り出し、彼らが出発するとき、彼らに言った。「道中、言い争いをしないでください。」

45:25 彼らはエジプトから上って、カナンの地、彼らの父ヤコブのもとへ戻って来た。

45:26 彼らは父に告げた。「ヨセフはまだ生

きています。しかも、エジプト全土を支配しているのは彼です。」父は茫然としていた。彼らのことばが信じられなかったからである。

45:27 彼らは、ヨセフが話したことを残らず彼に話して聞かせた。ヨセフが自分を乗せるために送ってくれた車を見ると、父ヤコブは元気づいた。

45:28 イスラエルは言った。「十分だ。息子のヨセフがまだ生きていたとは。私は死ぬ前に彼に会いに行こう。」

神のご計画を担う者には常に同じ要件がそろっているようです。①神に信頼しそのご計画に喜んで従っている。②神の視点の広い視野で物事を見ている。③個人的な損得や好き嫌いや恨みを乗り越えて、主のみこころに興味関心がある。④自分に与えられたものを豊かに施したいと願っている。... 等等です。私たちはどうでしょうか。ヨセフはこれらがことごとく備わっていましたが、それは試練と信仰による賜物でした。

また神のご計画を担ったということでは、最も偉大なのは主イエスの十字架です。当然イエス様は前述の要件を完全に満たしておられるお方です。私たちがイエス様と交わるときに、そのような建設的な人格が形成されてゆきます。

ものごとの背後には主がおられるということもいつも忘れず、主のみことばである聖書を糧とし、祈りつつイエス様と毎日親しく交わりましょう。

またヨセフが「言い争わないように」と言ったことも印象的です。争うとしたら、①ヨセフへの謝罪の思いから過去を蒸し返して、誰が悪いかという犯人探し②今後どうするかという将来の見通しや主導権争い③父ヤコブにヨセフを売ったと知られてしまうことへの恐れと、どう言い訳するかという見通し、それに関連して過去の責任問題... など色々あったでしょう。

過去を乗り越えて祝福に変えていただくことは、神からの大いなる祝福ですが、過去を蒸し返し、まだ神に委ねきれないなら、その祝福さえすぐにでも災いになりかねません。ヨセフは神の試練に耐えたものとして備えられた人格によって、それらを察知したようです。主の祝福と希望に目を留めて良いのです。28節のヤコブのことばがその答えでした。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 11日 金曜

創世記



です。

46:1 イスラエルは、彼に属するものすべてと一緒に旅立った。そしてベエル・シェバに来たとき、父イサクの神にいけにえを献げた。
46:2 神は、夜の幻の中でイスラエルに「ヤコブよ、ヤコブよ」と語りかけられた。彼は答えた。「はい、ここにおります。」
46:3 すると神は仰せられた。「わたしは神、あなたの父の神である。エジプトに下ることを恐れるな。わたしはそこで、あなたを大いなる国民とする。
46:4 このわたしが、あなたとともにエジプトに下り、また、このわたしが必ずあなたを再び連れ上る。そしてヨセフが、その手であなたの目を閉じてくれるだろう。」
46:5 ヤコブはベエル・シェバを出発した。イスラエルの息子たちは、ヤコブを乗せるためにファラオが送った車に、父ヤコブと自分の子どもたちや妻たちを乗せた。
46:6 そして、家畜とカナンので得た財産を携えて、ヤコブとそのすべての子孫は、一緒にエジプトにやって来た。
46:7 彼は、自分の息子と孫、娘と孫娘、すなわちすべての子孫を、一緒にエジプトに連れて来た。

エジプトは、アブラハムやイサクの代から異教の地であり、様々な危険があったことをヤコブは父からも聞かされていたはずですから、エジプト行きを恐れるのも当然です。神様もイサクにはエジプト行きを禁止されました。しかし、重要なのは今の神様のみこころです。神様はヤコブに恐れるなど、安心させて導かれますが、これは私たちにも同じです。ヤコブは恐れに対しては主を第一にするべきと考え、礼拝しました。これもまた私たちがすべきこと

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 12日 土曜

創世記

46:8 エジプトに来たイスラエルの子ら、ヤコブとその子らの名は次のとおりである。ヤコブの長子ルベン。

46:9 ルベンの子はハノク、パル、ヘツロン、カルミ。

46:10 シメオンの子はエムエル、ヤミン、オハデ、ヤキン、ツォハル、カナンの女による子シャウル。

46:11 レビの子はゲルション、ケハテ、メラリ。

46:12 ユダの子はエル、オナン、シェラ、ペレツ、ゼラフ。エルとオナンはカナンの地で死んだ。ペレツの子はヘツロンとハムルであった。

46:13 イッサカルの子はトラ、プワ、ヨブ、シムロン。

46:14 ゼブルンの子はセレデ、エロン、ヤフレエル。

46:15 これらは、レアがパダン・アラムでヤコブに産んだ子で、それに娘ディナがいて、彼の息子や娘たちは全部で三十三人。

46:16 ガドの子はツイフヨン、ハギ、シュニ、エツボン、エリ、アロディ、アルエリ。

46:17 アシエルの子はイムナ、イシュワ、イシュウィ、ベリアと、彼らの妹セラフ。ベリアの子はヘベル、マルキエル。

46:18 これらは、ラバンが娘レアに与えたヅルパの子である。彼女はヤコブに、これら十六人を産んだ。

46:19 ヤコブの妻ラケルの子はヨセフとベニヤミン。

46:20 ヨセフにはエジプトの地で子が生まれた。それは、オンの祭司ポティ・フェラの娘



アセナテが彼に産んだ、マナセとエフライムである。

46:21 ベニヤミンの子はベラ、ベケル、アシュベル、ゲラ、ナアマン、エヒ、ロシュ、ムピム、フピム、アルデ。

46:22 これらはヤコブに生まれたラケルの子で、全部で十四人。

46:23 ダンの子はフシム。

46:24 ナフタリの子はヤフツェエル、グニ、エツェル、シレム。

46:25 これらは、ラバンが娘ラケルに与えたビルハの子である。彼女がヤコブに産んだのは全部で七人であった。

46:26 ヤコブに属する者、彼の腰から生まれ出た子でエジプトにやって来た者は、ヤコブの息子たちの妻を除いて、全部で六十六人。

46:27 エジプトで生まれたヨセフの子は二人である。エジプトに来たヤコブの家族は、全部で七十人であった。

エジプトに行ったヤコブの家族は70人とありますが、すでに死んだ者も含まれています。数え方で数は変化しますから、ここで大切なことは70と記したその意図です。

70とは完全数を表します。神様の導き、みわざ、ご計画が完全ということです。人間的な要因があり、いさかきがあり、困難がありました。また主に従い、主に変えられていった経緯がありました。これら全てが家族全員の経験であり将来となってゆくのです。そしてそこに完全な主のわざが結果としてあったということです。生涯と家族に完全なわざを行われる主を信頼しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



46:28 さて、ヤコブはユダを先にヨセフのところに遣わして、ゴシェンへの道を教えてもらった。そうして彼らは、ゴシェンの地にやって来た。

46:29 ヨセフは車を整え、父イスラエルを迎えにゴシェンへ上った。そして父に会うなり、父の首に抱きつき、首にすがって泣き続けた。

46:30 イスラエルはヨセフに言った。「もう今、私は死んでもよい。おまえがまだ生きていて、そのおまえの顔を見たのだから。」

46:31 ヨセフは兄弟たちや父の家の者たちに言った。「私はファラオのところ知らせに上って行き、申しませう。『カナンの地にいた、私の兄弟たちと父の家の者たちが、私のところにやって来ました。』

46:32 この人たちは羊飼いです。家畜を飼っていたのです。この人たちは、自分たちの羊と牛と、所有するものすべてを連れて来ました。』

46:33 もしファラオがあなたがたを呼び寄せて、『おまえたちの職業は何か』と聞いたなら、

46:34 こう答えてください。『しもべどもは若いときから今まで、家畜を飼う者でございます。私たちも、また私たちの先祖も』と。そうすれば、あなたがたはゴシェンの地に住めるでしょう。羊を飼う者はみな、エジプト人に忌み嫌われているからです。』

ヤコブの一族は大きかったため、エジプトに入る前にヨセフの誘導をもらうためにゴシェンで待機したのかもしれませんが、またはゴシェンに住むのに良いということを発見したのかもしれませんが、見知らぬ土地ではありましたが、主のご計画に従う者には、主は必ず良い場所を備えてくださるのです。

ヨセフは何度も泣きました。涙も神様が備えてくださった、癒しのための恵です。時には主の前で心を許して、泣いて良いのです。主の前では、または主の与えてくださった信頼できる共同体の中では、強さを装わずに、ありのままの自分を見せることも必要です。そこに真実な交わりが始まり、主のみわざを体験することもあるのです。

エジプト人は早くから農耕をしており、周辺の遊牧民よりも進んだ民でしたし、彼らは周辺民族を見下げる傾向があったようです。民族同士の偏見はどこの世界でも根強いものがあり、それは嫌悪感にさえ発展します。ですからヤコブの一族は「忌みきらわれる」種類の民だったのです。しかしヨセフは大臣という高い立場にありながらも、自分の地位を守ることに固執しないで、自分がその「忌みきらわれる」民出身であることを明らかにしました。

ヨセフは今自分があるのは神様のおかげと信じ、感謝していましたから、その神様が与えてくださった生い立ちや家族を肯定的に受け止めていたはずです。主の与えてくださった自分の境遇を肯定しましょう。感謝し、希望を見出しましょう。

またヨセフは、自分がヤコブの家族であるということはすなわちまことの神を信じる者であるという、信仰のアイデンティティーを持っていました。ですから評判は下がるようなことがあっても、また仕事がやりずらくなるようなことがあっても、「羊を飼う者」の出身であることを隠さなかったのです。恐れて信仰を隠すよりも、神様からの助けをいただいて証しをする者になりたいものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

